

# 第4部

# 資料編



第4部

資料編

## 1 第1次総社市総合計画策定の経過

年月日	内 容
H17.7.15	庁議で総合計画策定方針を決定
8. 1	総社市企画担当員を任命
8. 2	第1回企画担当員会議開催
8.31	総合計画審議会委員委嘱
"	第1回総合計画審議会開催
9.14~9.30	市民アンケート実施（住民基本台帳から無作為抽出した5,400人を対象）
9.30	県立大学との懇談会で意見聴取
10.11	市民団体懇談会で意見聴取
10.14	"
11.12	まちづくり懇談会で意見聴取（東公民館、清音公民館）
11.13	"（昭和公民館、西公民館）
11.20	"（山手公民館、市立図書館）
H18.1.26	まちづくり協議会（山手、清音）で意見聴取
1.30	第2回総合計画審議会開催
2.17	総務文教委員会調査研究会で基本構想（素案）を協議
2.22	市議会全員協議会で基本構想（素案）を協議
2.24	第2回企画担当員会議開催
3.30	第3回総合計画審議会開催
5.24	岡山県と協議開始
6. 2	第3回企画担当員会議開催
6.28	総務文教委員会調査研究会で基本構想（案）、基本計画（素案）を協議
7. 4	市議会全員協議会で基本構想（案）、基本計画（素案）を協議
7. 5	岡山県と協議
7.19	経済水道委員会調査研究会で基本構想（案）、基本計画（案）を協議
7.26	厚生委員会調査研究会で基本構想（案）、基本計画（案）を協議
7.27	建設消防委員会調査研究会で基本構想（案）、基本計画（案）を協議
7.5~7.28	パブリックコメント実施 （市役所、山手支所、清音支所、北出張所、西出張所、昭和出張所）
7.31	第4回企画担当員会議開催
8. 3	第4回総合計画審議会開催
8. 9	岡山県協議完了
8.11	総合計画審議会から答申
8.16	総務文教委員会調査研究会で基本構想（案）、基本計画（案）を協議
8.21	市議会全員協議会で基本構想（案）、基本計画（案）を協議
9.21	市議会にて基本構想を議決
9.22	基本構想及び基本計画を策定
9.22	岡山県知事へ報告及び公表

## 2 総社市総合計画審議会からの答申

平成18年8月11日

総社市長 竹内 洋二 様

総社市総合計画審議会  
会長 清水 男

総社市総合計画について（答申）

平成17年8月31日付けで諮問のあった総社市総合計画については、当審議会において慎重に審議を行った結果、新総社市の特性を生かし市民協働のまちづくりを基本とした夢のある総社市の将来像と方向が示されており、概ね適切なものと認め、次の意見を付記し答申します。

記

- 本計画の実施にあたっては、市民と行政が対等なパートナーシップのもと、市民協働のまちづくりを基本理念に推進し、市民のまちづくりへの参加機会の拡充に努められたい。また、厳しい財政状況下においても、本市の特色を生かした施策を展開し、市民が誇りをもてるまち、人が集まるまちづくりを進められたい。
- ひとり暮らしの高齢者、学校や通学路における児童・生徒を狙った悪質な犯罪が多発しているが、これを未然に防ぐため、情報システムによる手段も活用しながら市民への情報提供を十分に行うなど、地域と行政とが一体となった安心安全のまちづくりを進められたい。
- 地球温暖化は、いまやさまざまなところに影響を及ぼしている。市民一人ひとりの取り組みが大きく影響することから、ごみの発生抑制や再生利用を図る資源回収などの市民の主体的な取り組みを支援するとともに、資源循環型社会の構築に努められたい。
- 出生率の低下による少子化の進行及び高齢者対策は、本市においても大きな問題である。総合的な子育て支援を充実させ、次代を担う子どもを安心して産み育てることができるまちづくりの推進を図られたい。また、高齢者やその家族が安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携による総合的な福祉施策の推進を図られたい。
- 審議過程における各委員の意見、要望を十分に尊重しながら、本計画の事業の推進を図られたい。

第1部 計画策定にあたって  
 第2部 基本構想  
 第3部 基本計画  
 第4部 資料編